

令和2年度 広島北支部活動報告

今年度の研修会を、下記の通り開催いたしました。

日時：令和2年11月7日（土） 13：30～16：20

場所：広島市安佐北区総合福祉センター 6階 大会議室

講演1

演題 『在宅医療・介護連携における栄養士・管理栄養士の役割』

講師 広島修道大学 栢下淳子 先生

講演内容

在宅医療における問題点や嚥下調整食を調理する際の注意点等について講演頂いた。とろみを客観的に判断するために、各施設で基準を作成することが重要であると学ぶことができた。また、学会分類コード別の嚥下調整食について再度学習する良い機会となった。



講演2

演題 『安佐 RD 連携の会報告～嚥下調整食・経腸栄養剤の共有一覧表～』

講師 広島共立病院 管理栄養士 桑崎千尋 先生

講演内容

「安佐 RD 連携の会」立ち上げの経緯と活動内容について講演いただいた。近隣施設の栄養士が集まれる場所を作ることで、嚥下食の形態等の情報を共有することができ、患者様への適切な食事提供が可能になることを学んだ。他にも様々な活動の様子を説明していただき、栄養士間の連携の必要性を改めて感じた。

